

今月の星空



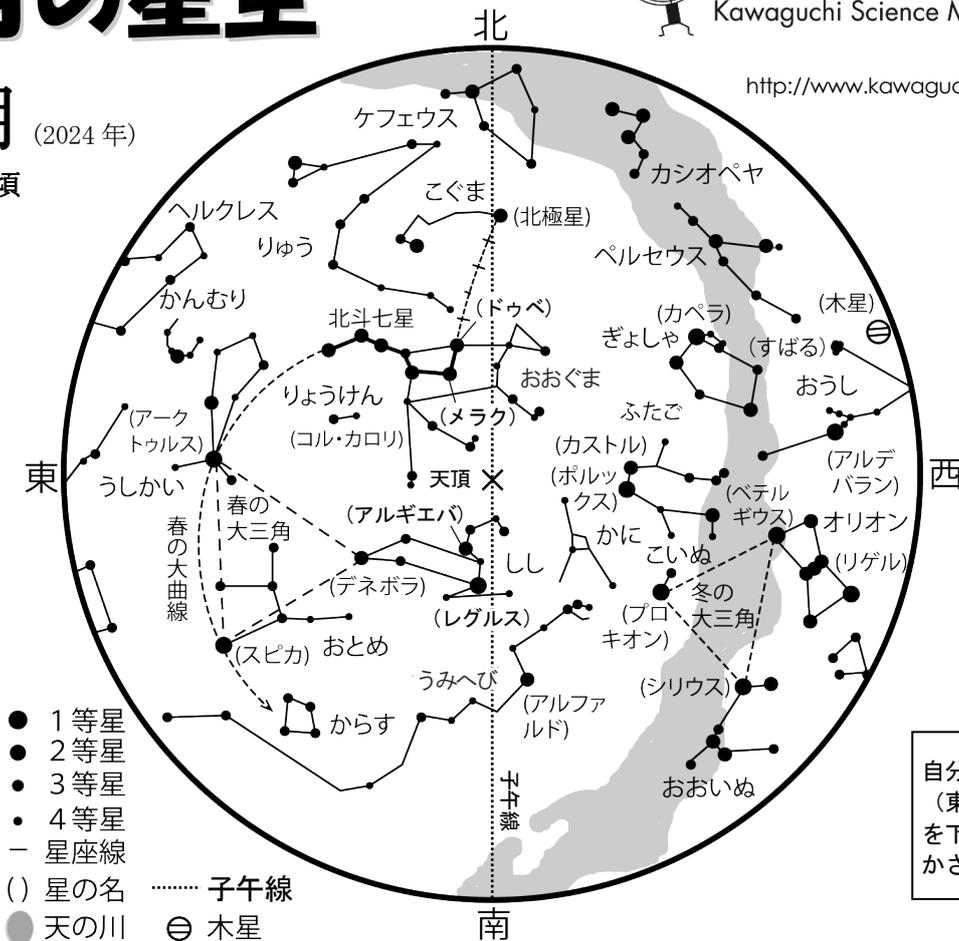
川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



tel 048(262)8431

http://www.kawaguchi.science.museum/

4月 (2024年)
中旬 20時頃



星図の見方
自分が見ている方を下
(東の空を見るときは東
を下)にして、頭の上にかざして見ます。

月 齢 ① 下弦 2日、● 新月 9日、② 上弦 16日、○ 満月 24日

惑星情報 木星 日の入り後 西(おひつじ座 -2等) ※中旬まで

土星 日の出前 東(みずがめ座 1等) ※下旬以降

☆巨大な星座が競って昇る春の夜空

北斗七星が北の空高くに昇る頃、春の星座は見ごろを迎えます。地球が自転しているために、星座はその場に留まることなく、東から西へと位置を変えてしまいます。星座探しに慣れていないかたは、日没から1時間半ほど経過した20時前後で、星が最も高い位置に来る子午線(天頂を通る北と南をつなぐ線)付近の星座を探してみましょう。2等以上の星を持つ春の5星座——うしかい座、うみへび座、おおぐま座、おとめ座、しし座——で競った場合、日没後にいち早く子午線に到達するのは、うみへび座(アルファルド: 中旬で19時半頃)です。2位はしし座(レグルス: 同20時過ぎ)、3位は北斗七星を含むおおぐま座(ドウベとメラク: 同21時過ぎ)、4位は、やや遅れておとめ座(スピカ: 同23時半頃)、5位はうしかい座(アークトゥルス: 0時半頃)となります。実際に夜空で春の星座を見つけてみると想像以上の大きさに驚くかもしれません。

☆月と木星とポン・ブルックス彗星

4月10日、11日は日の入り後の西の低空で、細く欠けた月(9日が新月)が木星やすばるに近づくため、注目です(右図参照)。実はその近くにポン・ブルックス彗星(12P/Pons-Brooks)がやってきました。ただし、この彗星は肉眼で見るとは難しいのでご注意ください。郊外で天候等条件が良い場合は、双眼鏡や写真撮影で観測できるでしょう。

1812年に発見され、約70年の周期で太陽を巡るこの彗星は4月に太陽に最も近づくため、3月から4月にかけて比較的明るく(予想は4等台)、観測の好機となります。一般に多くの彗星とは異なる極端な楕円軌道を取り、この彗星も太陽との距離が約1億2千万km(金星-太陽間ほど)まで近づいた後は、海王星(太陽からの距離: 約45億km)よりも遠い場所まで離れ、70年かけて再び現在の位置に戻ってきます。

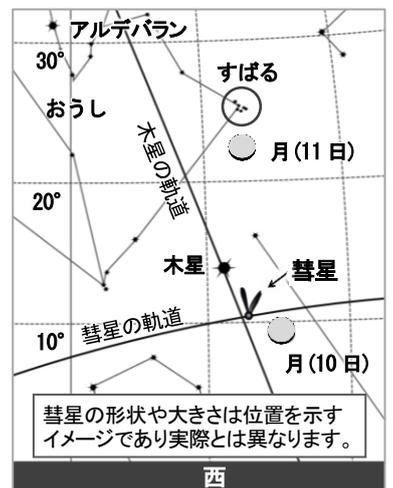


図 4月11日19時頃の月、木星、すばる、ポン・ブルックス彗星
(国立天文台/ステラナビゲータを元に作成)